

Title	寄贈交換圖書雑誌目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1933
Jtitle	史学 Vol.11, No.4 (1933. 2) ,p.183(689)- 184(690)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330200-0183

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

寄贈交換雜誌圖書目錄

一高史談會が、その創立二十周年を記念し、既に出版した大正十二年刊「史蹟を探る人々に」(東京郊外編)、昭和二年刊「東京近郊史蹟案内」の中新東京に繰入れられる部分を改訂し、舊市内篇を新たに編纂増補して一冊となしたものが本書である。一高生の編纂とは云ひながら先輩に鳥羽正雄、長澤規矩也、藤木邦彦三氏等の如き専門家あり、全く此種の出版物として坊間に類を見ざる立派な出版物である。先づ總説として東京附近の史的變遷を略敘し、次に市内篇郊外篇の二部に分けて、史蹟を説明し、最後に江戸地誌解説略、國寶目錄、年號表を添えてをる。散歩者の好伴侶であり、殊に郷土教育の提唱せられる今日、時宜を得たる好著述として江湖に推薦する。日本人が國內にベデカーの如き案内書を有して居ないことは誠に残念であるが、本書の如き獻身的の出版により歩一步理想に近づいてゆくことが出来ると思へば愉快である。吾人は、本書の如き史蹟案内に加えて更に將來地理學的、自然科學的、美術史的、民俗學的の案内が添附され、趣味の案内書が都人に供給せられんことを衷心より期待する。たとへば現代の若人にとつては、全く變形した三田池貝鐵工場の前で往古南洲と海舟の會見した薩摩藏屋敷趾を想起するよりも、寧ろ多摩川用水、品川用水、三田用水などの開發が如何にして大東京西部の發展を促したかと云ふ様な人文地理的考察をなす方が遙かに興味が多いと信ずる。史談會の諸君が今後史蹟の見方について新生面を開拓し、綜合文化史的の大東京の觀察指針を提供せられんことを切望する。(松本信廣)

書評

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 飯田忠純著 「法律史」と「法制史」との限界 | 高 原 書 店 |
| 野村岩夫著 仙臺藩農業史研究 | 無 一 文 館 |
| 宮武外骨編 壬午雞林事變 | 花 房 太 郎 |
| 橋本増吉著 日本上古史研究(一) | 大 岡 山 書 店 |
| 日英交通史料(九) | 武 藤 長 藏 |
| 宗教と藝術 「佛教藝術の研究」 | 龍 谷 大 學 文 藝 部 |
| 朝鮮佛教 「春畝山博文寺落慶入佛記念號」 | 朝 鮮 佛 教 社 |
| 上代文化 (八) | 國 學 院 大 學 上 代 文 化 研 究 會 |
| 馬琴會發行 曲亭馬琴年譜 | 森 潤 三 郎 |
| 三松莊一編 福岡縣郷土史年表 | 九 州 民 族 學 會 |
| 國學院大學附屬圖書館編 增加圖書目錄 | 國 學 院 大 學 |
| 松本信廣著 古代文化論 | 共 立 社 書 店 |
| 續正倉院史論 寧樂十五 | 寧 樂 發 行 所 |
| 備後史談 八ノ十、十一、十二 | 備 後 郷 土 史 會 |
| 風俗研究 一四九、一五〇、一五一 | 風 俗 研 究 所 |
| 飛彈史壇 十一ノ六、七 | 飛 彈 史 談 會 |
| 伊豫史談 七一 | 伊 豫 史 談 會 |
| 神社協會雜誌 三一ノ十、十一、十二 | 神 社 協 會 |
| 人類學雜誌 四七ノ九、十 | 東 京 人 類 學 會 |
| 上毛及上毛人 一八八 | 上 毛 郷 土 史 研 究 會 |
| かたな 三七七、三七八、三七九 | 中 央 刀 劍 會 |
| 金雞學院叢書 五九、六〇、六一 | 金 雞 學 院 |

考古學 三ノ四、五、六

考古學雜誌 二二ノ十、十一

國維 六、七

國學院雜誌 三八ノ十一、十二

國民經濟雜誌 五三ノ四、五、六

國史回顧會紀要 十二、十三

郷土研究 六ノ三

皇學 一

Memoria de la Secretaria de Relaciones Exteriores de Agosto de 1931 a Julio de 1932

Apuntes a la «Memoria de la Secretaria de Relaciones Exteriores de Agosto de 1931 a Julio de 1932

El libro y el pueblo Tomo X Numero 5

Volantes de El libro y el pueblo Tomo X Numero 5

El libro y el pueblo Tomo X Numero 6

Volantes de El libro y el pueblo Tomo X Numero 6

密教研究 四十六

民俗學 四ノ十、十一

奈良文化 二十三「學樂文化の研究」

大谷學報 一三ノ三

歴史地理 六〇ノ四、五、六

歴史と地理 三〇ノ四、五、六

歴史教育 七ノ七、八、十

立正大學史學會會報 三

立正大學史學會會報 三

東京考古學會

考古學會

國維會

國學院大學雜誌部

神戸商業大學內商業研究所

國史回顧會

郷土研究社

神宮皇學館

Memoria de la Secretaria de Relaciones Exteriores de Agosto de 1931 a Julio de 1932

Apuntes a la «Memoria de la Secretaria de Relaciones Exteriores de Agosto de 1931 a Julio de 1932

El libro y el pueblo Tomo X Numero 5

Volantes de El libro y el pueblo Tomo X Numero 5

El libro y el pueblo Tomo X Numero 6

Volantes de El libro y el pueblo Tomo X Numero 6

密教研究會

民俗學會

奈良文化編輯所

大谷大學佛敎研究所

日本歴史地理學會

史學地理學同攷會

歴史教育研究會

立正大學史學會

立正大學史學會

立命館學叢 三ノ十、四ノ一、二、三、四

龍谷大學論叢 三〇四

埼玉史談 四ノ一、二

青丘學叢 六、七、八、九

西洋史研究 二

仙臺郷土研究 二ノ十、十一

社會と國體 四ノ十、十一、十二

史學研究 四ノ二

史學雜誌 四三ノ十、十一、十二

下野史談 九ノ五、六

史林 一七ノ四

史蹟名勝天然紀念物 七ノ十、十一、十二

史前學雜誌 四ノ三、四

旅と傳説 五ノ十、十一、十二

刀劍研究 一八ノ十、十一、十二

怒佐布玖呂 五、六

土佐史談 四十一

東豫史談 十五

東洋文化 一〇〇、一〇一、一〇二

立命館出版部

龍谷大學論叢社

埼玉郷土會

青丘學叢發行所

東北帝大西洋史研究所

仙臺郷土研究所

里見日本文化學研究所

廣島史學研究所

東京帝大史學會

下野史談會

京都帝大史學研究所

史蹟名勝天然紀念物調查會

史前學會

三元社

南人社

土俗同好會

土佐史談會

西條史談會

東洋文化學會